

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 2 住民一人ひとりが助け合い、支え合える人材を育て、活躍の場を作る

施策	施策 4 地域福祉の担い手の人材確保と活躍できる場の拡充
評価指標	地域活動体験会の開催
目標値	令和 7 年度までに 6 回開催する。

工程表

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標						
	地域活動体験会を毎年実施					
実績						
	地域活動体験会（ちょいボラ・宅ボラ）を実施した。					

市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
1 地域福祉の担い手の人材確保	(1)高齢者活躍の支援 高齢者事業を推進する「シルバー人材センター」の運営の支援を行うなど、高齢者が生きがいを持って活躍できる場の提供に繋がります。 また、高齢者が生涯現役で活躍できる仕組みづくりを行い、高齢者の雇用・就業支援だけでなく、ボランティア等の社会参加推進に取り組めます。 (2)地域活動の参加のきっかけづくり 市内にある各種サポーターの講座の情報を、学校や地区社協、地縁団体等に提供し、参加するきっかけをつくります。 (3)地域とのつながり支援 地区社協等の地域関係機関と連携し、地域の事業にボランティア・各種サポーターに参加を呼びかけ、地域のつ	【令和 7 年度の実施状況】 ・シルバー人材センターへの支援として、運営費補助金に係る負担金を負担し、また、長寿あんしん課内へのシルバー人材センターの窓口設置により、取組の推進をサポートしました。 また、令和 5 年度から継続する就労的活動支援事業、高齢者版ファミリーサポート事業について ICT ツールを含めた周知を広く行い、高齢者のボランティア活動等の役割のある形での社会参加を促しました。 【計画期間の評価】 ・高齢者向けウェブプラットフォーム GBER 上により多くの地域団体の活動拠点や社会資源が掲載できるようにしたところ、地域団体の活動参加者数が増加した。 【第五次計画の実施事項】

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 2 住民一人ひとりが助け合い、支え合える人材を育て、活躍の場を作る

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
	ながりを醸成します。	・より多くの高齢者が活用できるよう、引き続き広報活動を行い、事業を継続していきます。

社協の取り組み

	計画の記載	今年度の実施状況・今後の実施予定
1 ボランティアセンターの機能強化	ボランティアを受け入れる団体や施設のリスト化や、ボランティア情報の発信を活発に行いボランティアセンターの機能の充実を図ります。 また、福祉施設での職業体験やボランティア体験後に継続的に活動に関わってもらうために、ボランティアを「したい人」、「受けたい人」に情報を提供します。 また、男性も参加しやすい活動を実施し、学生からシニアまで潜在しているニーズを発掘して活動につなげます。	【令和 7 年度の実施状況】 ・市の広報に QR コードを掲載し、ボランティア情報のページに飛ばせるようにしました。 また、夏休みボランティア受入では ICT を活用するなど利用者にとってボランティアの参加しやすくなるよう努めています。 【計画期間の評価】 ・ボランティアの受入をより進められるよう ICT システムの導入をするなど今までにない取り組みを進めました。 【第五次計画の実施事項】 ・ボランティアガイドの発行や個人ボランティアが参加しやすくなるような取り組みを進めていき、ボランティアしたい人・受けたい人をつなげていきます。
2 和光ゆめあいサービスの発展的活用	和光ゆめあいサービスを地域特性に応じたサービスとして展開し、地区社協をはじめ、地域住民による積極的なかかわりがある活動となるよう支援していきます。	【令和 7 年度の実施状況】 ・和光ゆめあいサービスを終了し、家にいたままボランティア活動ができる宅ボラを気になる高齢者に行ってもらうことにより、外とのつながりを持つきっかけとなりました。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 2 住民一人ひとりが助け合い、支え合える人材を育て、活躍の場を作る

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
		【計画期間の評価】 ・和光ゆめあいサービスが終了することとなったが、別の形として事業が発展しました。 【第五次計画の取組事項】 ・宅ボラを他の地域に進められるようボランティアセンターや地区社協、関係機関と進めていきたいと考えております。
3 気軽に参加できる場・活動の実施 4 学校・地域・社協・地区社協が一緒になって行う福祉共育の推進	活性化を図りたい「ふくしキャッチャーズわこう」は、地域課題に関心を持てるよう講演会や研修などを開催、または情報を提供し、ボランティア活動や小地域福祉活動等の新たな担い手につながるようにしていきます。子どもから大人まで、地域活動に携わっていない方でも気軽に参加できるような軽作業などのボランティア活動や体験会を企画するほか、ごみ拾いや見守り活動等の情報提供により、住民が活躍できる場に触れる機会を増やしていきます。 これらの活動へ参加した方や新規にボランティア活動を希望する方については、名簿を作成して活動先の情報等が個別に受け取れるような仕組みを検討していきます。また、必要に応じて、保健福祉サポーター等との連携を図っていきます。	【令和 7 年度の取組状況】 ・ちよいボラの参加が増加しており、中には仕事復帰への前段階としてボランティア活動をするところから参加する方もいました。 【計画期間の評価】 ・計画期間内に地域活動に携わる方と新たにつながることでできたこともあり、より地域活動が発展しました。 【第五次計画の取組事項】 ・地域の方が気軽に参加できるように情報提供や個人ボランティアをリスト化するなど整理し、地域のボランティア希望としたい方をつなげていきます。
4 学校・地域・社協・地区社協が一緒になって行う福祉共育の推進	小中学校や高等学校への福祉共育を地域とともに促進し、福祉に対する理解を深め、次世代の地域福祉の担い手になるよう取り組みます。 我が事として、地域の福祉課題の解決に向けて考え行動できるように、保護者、学校応援団、PTA、	【令和 7 年度の取組状況】 ・総合福祉会館を会場に朝霞地区四市福祉研修会を実施しました。教職員の他、地域のボランティアや当事者の方が参加し、今後の福祉共育に生かせるよう研修を実施しました。

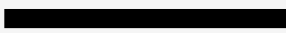
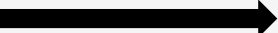
第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 2 住民一人ひとりが助け合い、支え合える人材を育て、活躍の場を作る

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
	教員などをはじめ、住民と地域に根付いた組織とともに体験学習や講座などの地域福祉活動へ参加することで連携を強化し、継続した担い手確保を目指します。 出前講座を実施し、より身近な場で福祉にふれる機会を提供します。 多くの市民や当事者が福祉共育への参画者となるよう、地区社協など地域の方が活動できる機会づくりを支援します。	・学校の授業ではさつき苑利用者による紙すき体験や地区社協の方による協力を得て実施しました。 【計画期間の評価】 ・毎年、教職員や地域のボランティアの方が朝霞地区四市福祉研修会に参加してもらった。従来の車いす体験だけでなく、さつき苑利用者との紙すき体験などを通して障がい理解につながることもあり、計画通り以上の成果があったと考える。地区社協のなどの地域の方も福祉共育に携わることができました。 【第五次計画の取組事項】 ・地域の方が参加できる福祉共育を進め、福祉共育が地域と学校をつなげるきっかけを目指します。
5 企業・社会福祉法人・NPO 法人関係団体への社会貢献活動の啓発	地域における企業に対して社会貢献活動調査を行い、地域共生社会の一員としての役割の認識を促します。 法人会員に配布する地域福祉応援企業シールを活用し、社会に貢献する企業の周知を行うとともに、社会貢献活動を推進するための情報交換会を開催します。	【令和 7 年度の取組状況】 ・法人会員に地域福祉応援企業シールを配布しました。 【計画期間の評価】 ・法人会員などを通して地域企業とのつながりをより進める必要があると考えます。 【第五次計画の取組事項】 ・企業の社会貢献活動をさらに進められるよう情報収集を行っていきます。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 2 住民一人ひとりが助け合い、支え合える人材を育て、活躍の場を作る

施策	施策 5 保健福祉サポーターの活動の充実
評価指標	保健福祉サポーター数、養成講座の実施
目標値	令和 5 年度以降の状況により設定

工程表

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
目標	 統合サポーター名簿の作成・管理	 名簿の効果的な活用				
実績	 統合サポーター名簿の作成は出来なかった。	統合サポーター名簿の作成について、調整を進めた。	統合サポーター名簿の作成は出来なかった。	統合サポーター名簿の作成は出来なかった。	統合サポーター名簿の作成は出来なかった。	 統合名簿の作成は完了。

市の取り組み

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
1 保健福祉サポーターの役割の整理とスキルの向上	各サポーターの役割を整理し、現在の活動のさらなる充実や新しい活躍の場の提供を行います。 また、ステップアップ研修の実施や、スキル向上に必要な情報提供及び支援を行い、サポーターの質の向上を図ります。	【令和 7 年度の実施状況】 ・毎年、市役所職員に対して研修を実施し、あいサポーターを養成しています。 ・食育おうえん隊講座では、共食・見守り等の事業協力等、新たな活躍の場を提供しました。 また、ヘルスサポーター養成講座を開催する際に、既に認定しているサポーターに対して、講座の再受講をとおして知識の確認やスキルアップを目的に講座の再受講の案内を送付しました。その結果、受講者 47 名のうち 12 名に再受講いただきました。ヘルスサポーター定例会では、運動に関する知

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 2 住民一人ひとりが助け合い、支え合える人材を育て、活躍の場を作る

	計画の記載	令和 7 年度 of 取組状況・計画期間 of 評価 第五次計画 of 取組事項
		識向上のために、令和 7 年 5 月 13 日・20 日に体力測定会及び運動講座を開催し、27 名が参加しました。また、令和 7 年 11 月 25 日・令和 8 年 2 月 27 日には、ヘルスサポーターアンケートの報告会及び運動講座を開催し、50 名の方が参加しました。 ・ヘルスサポーター（介護予防サポーターと統合済）に対し、介護予防事業の支援や体力測定会での支援など、活躍できる場についての情報を提供しました。 【計画期間 of 評価】 ・毎年、新人職員を対象とした研修を継続的に実施しており、障害への理解と配慮を実践できる人材である『あいサポーター』の養成を組織的に推進しています。 ・ヘルスサポーターの活躍できる機会づくりについて情報提供することができた。 【第五次計画 of 取組事項】 ・あいサポーターは、特別な技術の習得は不要であり、障害の特性や必要な配慮等を理解して、障害者を手助けできる者であれば、誰でもなることができるものとされています。今後も、共生社会の実現に向けて、また、障害者が気軽に手助けを求められるように、市職員を中心に本研修を実施し、あいサポーターを増員していきます。 ・介護予防サポーターとヘルスサポーターの一元化について、両サポーターへの説明や養成講座の内容の整理を行い、健康支援課を中心として両側面の内容を包含した養成講座を実施しました。 ・ヘルスサポーター養成講座や、体力測定会や健康増進セミナーを開催し、各ヘルスサポーターのスキルの向上に取り組みました。また、定例会では、参加した各ヘルスサポーター同士の交流し、自主活動グループの活動の活性

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 2 住民一人ひとりが助け合い、支え合える人材を育て、活躍の場を作る

	計画の記載	令和 7 年度の実施状況・計画期間の評価 第五次計画の実施事項
		化につながりました。
2 統合名簿 の作成	各サポーターを一元的に把握するための統合名簿を作成し、登録状況や活動状況等を管理します。これにより、各サポーターの活動の偏りを極力なくすほか、現在活動している場以外での活用に繋げていきます。	【令和 7 年度の実施状況】 ・ヘルスサポーターへの情報提供を行いました。 ・令和 4 年度にヘルスサポーターと介護予防サポーターを統合してから名簿は一元管理しています。 【計画期間の評価】 ・ヘルスサポーターへの情報提供を行い、活躍の場の拡大を援助することができた。 【第五次計画の実施事項】 ・統合名簿の作成は完了したため、今後も管理を継続します。(達成)
3 地域における活躍の仕組みづくり	地区社協等と連携し、サポーターが地域で活躍できるような仕組みづくりを進めます。例えば、サロン開催時における高齢者等の移動支援や、防災訓練時の避難行動要支援者の避難誘導援助などが考えられます。	【令和 7 年度の実施状況】 ・市内各所で行う一般介護予防事業や体力測定会を円滑に実施するため、ヘルスサポーターに現地での支援に取り組んでいただきました。 ・わびあ（広沢複合施設）の連携の中で、イベント時や健康増進センター事業へのボランティアを依頼しました。 【計画期間の評価】 ・わびあ（広沢複合施設）や市内各所で実施する一般介護予防事業等において、ヘルスサポーターが活躍できる機会や場の充実に努めました。 【第五次計画の実施事項】 ・ヘルスサポーターが地域で継続的に活躍できるよう、引き続き活動の場を提供していきます。 ・令和 7 年度に引き続き、わびあ内での連携事業等でボランティアを実施しました。

第四次和光市地域福祉計画和光市社会福祉協議会地域福祉活動計画 進捗管理表 方針 2 住民一人ひとりが助け合い、支え合える人材を育て、活躍の場を作る
社協の取り組み

	計画の記載	今年度の取組状況・今後の取組予定
1 保健福祉サポーターの一覧表作成・活用	地域内でのサポーター情報をとりまとめ、目的、役割等を一覧表として提示し、登録と活動の機会を提供する仕組みを作ります。 例えば、社協は地域の実情に応じた小地域福祉 15 や地区社協、ボランティアなどの活躍の機会を提供するほか、新規に活動を企画する場合は、助成金情報の提供や立ち上げの支援をしていきます。	【令和 7 年度 of 取組状況】 ・サポーター一覧表や活動の仕組みづくりには至っていません。 【計画期間 of 評価】 ・活動の仕組みづくりまでは至らなかったが、名簿を作成することができた。 【第五次計画 of 取組事項】 ・市の担当課と連携して情報共有を図っていきます。